

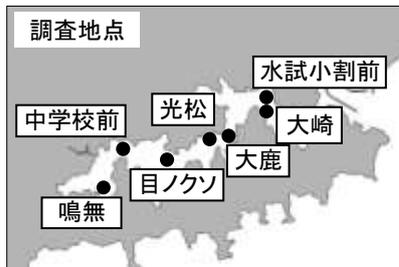
プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で1,225cells/ml、シャットネラ属が最高で2cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高で100cells/ml確認されました。

**カレニア・ミキモトイは、鳴無(2m層と5m層)、光松(5m層)、大鹿(5m層)で被害が想定される細胞密度になっています。**  
今後、これらの有害プランクトンが増殖し、0m層まで被害が想定される細胞密度になる可能性があります。十分に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	シュードシャットネラ・ベルクローサ	珪藻類
中学校前	0m	12	0	9	3,100
	2m	220	0	20	2,400
	5m	60	0	0	1,900
目ノクソ	0m	32	0	8	2,000
	2m	17	0	7	1,200
	5m	240	2	20	3,100
光松	0m	2	0	5	2,600
	2m	4	0	7	4,500
	5m	850	0	100	4,300
大鹿	0m	2	1	3	6,600
	2m	46	0	6	5,600
	5m	1,150	0	30	4,200
水試小割前	0m	2	0	6	5,900
	2m	0	0	2	6,800
	5m	35	0	4	1,800
鳴無	0m	19	0	4	
	2m	916	1	3	
	5m	1,225	1	2	
大崎	0m	0	0	3	
	2m	4	0	8	
	5m	72	0	2	

**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモトイ:  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ:  
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)